



## the pioneer 笑人

匠の技を伝え学び、常に新しい道を切り開く事で笑顔の花を咲かせる開拓者-Pioneer-。今と未来のTSSを開拓する人物にせまるこのコーナー。第9号は、舟田清人氏に登場してもらう。



舟田 清人  
Kiyoto Funada

技術、営業、メンテナンスの全てに精通する、言わずと知れたTSSのMrオールラウンダー。そのゴットハンドぶりは、海外の顧客工場で知れ渡り、そこらのアイドル顔負けの人気。無類のガジェット好きで、新しい携帯も音楽プレーヤーも全部持っている。

今年から、生産管理のMGRとして持つ知識を総動員して奮闘中。

### あるマシンと向き合った二十年

#### そこで感じ取ったもの

黒部市出身の舟田。地元の高校を卒業後、関西の工学系大学に進学。やがて、就職活動の時期になったが、彼が選んだのは、中小企業であるTSSだった。当時、工学系学生の憧れの的は、世界トップクラスの技術を誇る、

「だったのに。なぜ…？」

「日本電気に憧れはあった。でも、TSSを見学してね。当時のうちは、と取引があったから、『い』なら、最先端を勉強できるかな…』と思っ

TSSに入社した舟田は、幾多もの案件を

経験して成長。その中でも、一番思い出に残っている仕事は、

「言う設備だと言う(ちなみに近年、などの名前で、この設備が里帰りして改造されている)。技術者に求められるモノが変化していく様を、このマシンと向き合ってきた二十年の間に、舟田は感じ取っていた。

「高速回転で端子挿入するマシンだったんだけど、当時のうちのマシンが五百回転。で、このマシンは、一千回転。実際仕事してみると、理論上は成り立っているけど、現実はなかなか…という部分、あったりするじゃない。でも、この設備は、そういう部分が、本当に緻密に設計されたものだった。昔は、感覚に頼る部分が多かった。今は、理論的確認

を求められる部分が増えて、その過渡期の設備だったね。機械を作る難しさの内容が変化しているのと同時に、技術屋に求められる能力も変わってきた。昔はセンスが必要だったけど、今はそれにプラスして、理論的裏付けができる人が、必要とされている。」

### 必殺勉強法！ 本は目次だけ！！

「今までも、本を読んで知識を蓄える大切さを語る匠は多かった。しかし、やはり勉強のための読書を、拷問と感じる方も多いはず…。実は、舟田もその中の一人。そんな舟田が推奨する(?)勉強法があった。それは…『目次だけ読む』！

「本読むの嫌いなっていうか、読めないタチなんだよね。買っただけで、安心しちゃう(笑)。それに、その時本当に知りたいことって、ほんの二・三ページ分しかないからね。要は、知りたい情報を、その都度引き出せる、百科事典があればいいんだよ。目次だけ自分の中に持って、中身が必要な時に…でも良いかなって。」

**必殺勉強法2！ 物まねせよ！！**

人の技術を盗むことも、多くの匠が推奨する極意。その盗みの、舟田式活用法とは、『コピーと物まねは違う。物まねせよ』

「後でどうするかという部分があるのが、物まね。俺達が悩んでいた箇所に対して、『なぜそれが有効か』を、理解してやっているもの。コピーは、同じものは作れるけど、それ以上にはならない。仕組みを知る必要が無いからね。日本だって、海外を真似して成長してきた。盗んだものを、コピーでなく、物まねとして出す。そうしないと、成長しない…コピーから新しいものは生まれえない、絶対に。」

最後に、こんなことを話してくれた。

「ストレス発散法ねえ…ストレスは、考えないことにしました(笑)。あとは…楽しく仕事やろうよ！って言いたいか…。時代とか、状況もあるから、難しくなってる部分もあるけど。」

「(仕事で楽しく感じるところはどこですか？舟田さんは、機械が好きなんですか？と質問したら…)」

「えっ…俺、マシン好きなのかなあ…(笑)。でも、お客さんに『これ、できますか？』って聞かれて、『できますよ』って答えるのは、なんかいいよね。技術的に可能って意味で、費用は別問題だから、そこが悩ましかったりするんだけどね」

(敬称略)